

## 平成25年度 事業計画書

### 1. 研究助成事業

#### ① がん研究助成

全国の不特定多数の「がん研究、がん医療」の研究者を助成の対象とし、原則公募で運営し「がん研究助成審議会」の審議を経て、研究助成金を贈呈するもので、今回で46回目を迎える。

#### ② 海外派遣研究助成

がんに関する国際会議、国際学会への出席者に対して助成を行う。研究費等で対応が困難な若手研究者等を対象とすることとしている。

### 2. 関係団体助成事業

UICC（国際対がん連合）等の事業に対して協力助成を行い、世界、アジア等のがん対策に貢献することとしている。

### 3. 技術者研修助成事業

国際交流を通じ、がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等に対して助成を行ってきており、今回で10年目を迎える。対象は看護師、放射線技師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、ソーシャルワーカー等としている。

### 4. 第3次対がん総合戦略推進事業

#### (1) 外国人研究者招へい事業

外国の優れた研究者を招へいし、我が国の研究者と国際共同研究を行う。特にアジア諸国からの研究者の招へいを対象とし、アジア諸国との研究交流の推進を図る。

#### (2) 日本人研究者等派遣事業

多くの研究者が研究費で対応可能となっていることから、研究費で対応が難しい若手研究者を対象とする。

(3) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント制度）

将来のがん研究の中核となる人材を育成するため、リサーチ・レジデント制度を運用して30年目となる。すでに700名を超える卒業生を送り出しており、がん研究者の育成に多いに貢献してきた。しかしながら当事業を巡る環境は大きく変化してきていることから、平成21年度専門委員会にて制度の見直しを行い、リサーチ・レジデントの処遇等改善に努めてきた。また、成果の評価が必要なことから、2年次及び3年次のリサーチ・レジデントと受け入れ研究指導者を対象に、研究成果発表会を開催することとしている。

(4) 研究成果等普及啓発事業

国際がん研究シンポジウム・国際がん看護セミナーの開催や第3次対がん総合戦略研究の研究成果発表会を研究者向けおよび一般向けにそれぞれ開催する。

また研究の成果を国民にフィードバックする観点から、各種情報媒体を活用し、がんの普及啓発に努めることとする。

① 国際がん研究シンポジウム開催事業

国内外の研究者の参加を求めシンポジウムを開催し、最新の研究情報・医療技術情報の交換を行うことにより、研究の推進を図る。

本年度も6月に予定している。

② 国際がん看護セミナー開催事業

がん患者とその家族を支えるがん看護の向上を目指し、国内外のがん看護の専門家と一同に会し、セミナーを開催している。今回で14回目を迎える。今後は、さらなるがん看護の国際交流の推進を図ることとしている。

③ 研究者向け成果発表会の開催（平成26年2月開催予定）

④ 一般向け成果発表会の開催（平成26年3月開催予定）

⑤ 各種パンフレットの作成

5. がん臨床研究推進事業

(1) 外国人研究者招へい事業

優秀な外国人研究者を招へいし、我が国の研究者と国際共同研究を行う。

(2) 日本人研究者海外派遣事業

我が国のがん研究者を外国の大学・研究機関などに派遣し、がん研究に

従事させ、その成果をプロジェクト研究に活用する。

(3) 若手研究者育成活用事業

若手研究者を採用してがん研究に参画させ、将来のがん研究の中核となる人材を育成するため、リサーチ・レジデント制度を運用する。

(4) 研究支援者活用事業

研究支援者の活用により、研究の推進を図る。

6. 広報活動事業

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、全国の学校や保健所・診療機関等に配布し、がん予防やがんの正しい知識のわかりやすい情報提供に努める。